

ロシアのウクライナ侵攻から1年が経ちESG投資はどのように変化したか



ティモシー・アッシュ

シニア・ソブリン・ストラテジスト
エマーGING市場

2023年2月24日

ロシアのウクライナ侵攻から1年が経つなか、ESG投資に関する状況がどのように変化したかを再評価します。

ロシア・ウクライナ紛争は、ESGの新たな力を示したように思います。これは、投資家の先見のなポジショニング、自発的な制裁、ESG考慮による強い影響力という3つの要因に分けることができます。

第一に、投資家の先見のなポジショニングについてです。ESGについて事前に調べ、プーチン政権にまつわる法やガバナンスの問題を理解していた投資家は、ロシア侵攻のかなり前からロシアへのエクスポージャーを減らしていました。今回の紛争で明らかになったとはいえ、ウクライナと西側諸国に対するロシアの悪意のある行動と、それに対する制裁は、以前からこうした懸念を示していたと思います。私たちは、数年前からロシアを取り巻くESGリスクの高まりに注意を払い、紛争が始まる数ヶ月前からロシアとウクライナのエクスポージャーを減らしました。

実際、2014年のロシアによるドンバスへの軍事介入、2015年のロシアによるクリミアの一方向的な併合、さらにミンスク議定書1、2での紛争解決の失敗が、ロシアとウクライナの間でより深刻な紛争が起きる可能性を示唆していたと言えます。より最近でいえば、2021年になるとウクライナ国境にロシア軍が絶えず配備されていたこと、プーチン大統領が2021年半ばに論文を投稿し、あとになればこれが戦争の正当性を示すものと捉えられること、西側諸国の治安当局筋がロシアの侵攻が近いと明確に警告していたことなどが、さらなる証拠として挙げられます。慎重な投資家は、ロシア関連のリスクをかなり前から取り払っていました。

第二に、制裁について着目すると、侵攻後のロシアにとって最大の打撃は、現地で活動する欧米企業による自発的な制裁であったかもしれません。制裁対象ではないセクターの多くの欧米企業が、ESGの懸念によりロシアから撤退しました。ロシアがウクライナで残忍な戦争を繰り返しているにも関わらず、なぜロシア市場に参入してロシア経済を支えているのか、その理由を説明しなければならぬというESGに関する懸念を増やしたくなかったのでしょうか。これは、欧米企業が制裁規定の文言に従うだけでなく、制裁規定の意図する精神にも従った最初の事例だと考えています。

第三に、ESG考慮は、侵攻を受けて、ロシアを様々なインデックスから除外するよう、中心的な市場インデックスを提供するプロバイダーを説得する上で強力な役割を果たしたと考えています。ESGへの意識が高い投資家は、すぐに対応をしなかったことへの責任を追及しました。また、ESGに関連する問題を中心に、格付会社がロシアの格付けを取り下げたことも、この延長線上にあると言えるでしょう。

ディスクレーム

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下ようになります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

ロング・オンリー戦略					オルタナティブ戦略		
(年率、税抜き)					(年率、税抜き)		
投資対象	投資適格債	エマージング債	レバレッジド・ファイナンス	転換社債	運用戦略	トータル・リターン	絶対リターン
運用管理報酬 (上限)	0.40%	0.70%	0.70%	0.65%	運用管理報酬 (料率範囲)	0.50% - 1.10%	0.90% - 1.35%
					成功報酬 (料率範囲)	0.00% - 20.0%	0.00% - 20.0%

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。

この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上



RBC BlueBay
Asset Management